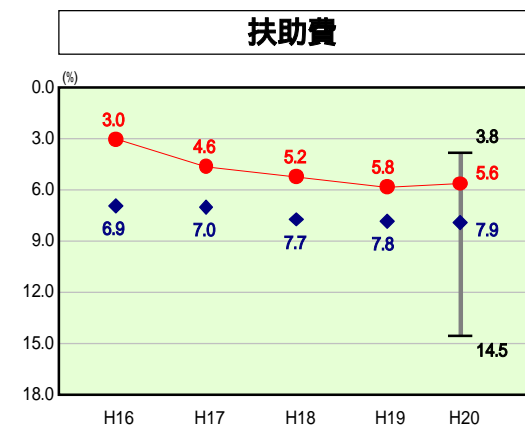
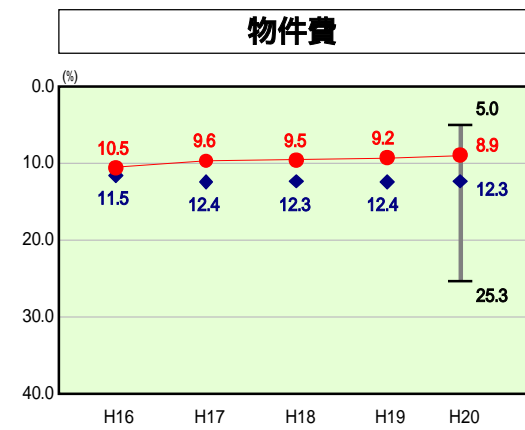
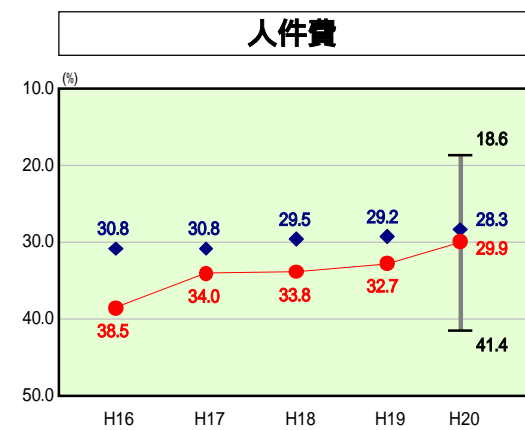
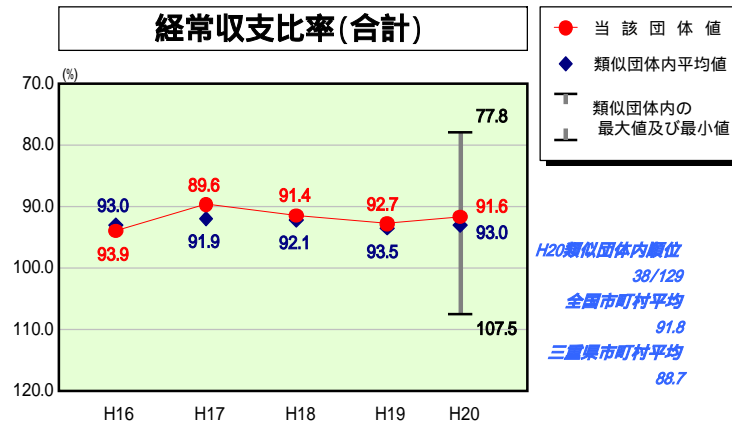
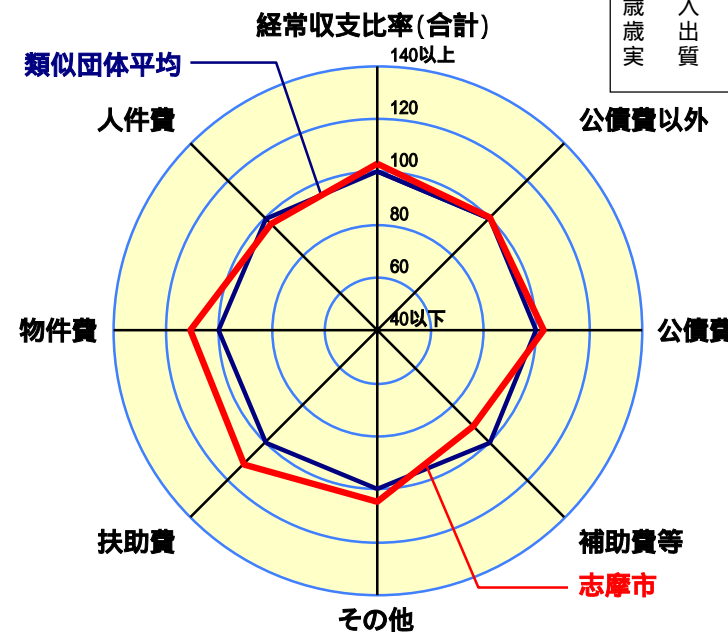


# 歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

## 経常収支比率の分析



人口	58,642人(H21.3.31現在)
面積	179.70 km <sup>2</sup>
標準財政規模	15,458,474千円
歳入総額	24,939,918千円
歳出総額	24,291,232千円
実質収支	469,387千円



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

経常収支比率の分析: 経常収支比率は、平成19年度に対し1.1%減の91.6%と減少している。類似団体と比較すると人件費及び補助費等が上回っているものの、人件費については平成18年3月に策定した志摩市定員適正化計画に基づき計画的に人員削減を図っているため、年々減少傾向にある。補助費等については一部事務組合等に対する負担金の占める割合が多く、今後広域連合によるごみ処理施設建設事業に対する負担金の増が懸念される。

人件費及び人件費に準ずる費用の分析: 類似団体と比較すると人口1人当たり決算額が類似団体平均81,150円に対し、114,608円と33,458円多い。特に臨時職員等の賃金や一部事務組合負担金に占める人件費は、類似団体と比較すると多くなっている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析: 類似団体と比較すると人口1人当たり決算額が類似団体平均26,984円に対し、30,387円と3,403円多い。これは合併特例債による借入額の増により、公債費充当一般財源等額(繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)として計上した額が増えたことが原因である。

普通建設事業の分析: 平成20年度決算において類似団体と比較すると人口1人当たり決算額が類似団体平均49,774円に対し71,329円と21,555円多い。これは新庁舎建設及び浜島町小学校建設など大規模事業の実施によるものである。

